



頚椎前方を語る会

Discussion on the Anterior Cervical Spine

日程： 2019年10月5日(土)

場所： ビー・ブラウンエースクラップ株式会社本社 6F アカデミールーム

開催にあたって

本邦における頸椎手術の90%以上が椎弓形成術という現状をどう捉えるべきでしょうか？

日本発祥の本術式に対する畏敬の念を感じる一方で、国際学会などでは椎弓形成術に固執した日本人の発表が多いことに不安を憶えることもあります。安全でほどほどの成績が得られる本術式は日本人気質に合致しているとも言えますが、頸部脊髄症・神経根症の病態を考えると前方法を選択すべき症例はもっと多い筈です。我々脊椎外科医が個々の患者にとって最適な術式を検討する際に、脊髄や神経根などの Content(中身)を健全な環境に戻し、それらを長期的に確保するために Container(格納庫)の再建を図ることには合理性があると考えます。その観点から言えば頸椎前方法には多くの利点があり、それを引き出すためには正確な手術の実施と適切な術後ケアが求められます。しかし、前方法を積極的に選択している教育機関が少ないこともあって、細かな手術手技や器具の使い方あるいは周術期管理等についての経験と知識が地域間や世代間に広く共有されていないのが現状です。人工椎間板置換術という新たな選択肢も加わった今、頸椎前方法について深く考え、それを語り合うには絶好の時期と考えます。参加される皆様の熱い議論を通して、本邦における頸椎外科医療の正しい方向性を模索できればと期待しております。

世話人 三原 久範

横浜南共済病院 整形外科部長

開催概要

日時： 2019年 10月5日(土) 13:00 - 18:00

会場： ビー・ブラウンエースクラブ株式会社本社 6F アカデミールーム

世話人： 横浜南共済病院 整形外科 部長 三原 久範 先生

座長： 筑波大学 整形外科 教授 山崎 正志 先生

主講師： 富士整形外科病院 脊椎センター長 望月 真人 先生

定員： 50名(先着順)

参加費： 3,000円

(日整会単位取得を希望される方は、2単位分 2,000円を別途いただきます。)

日整会単位： 2単位取得

※日本整形外科学会教育研修講演

- 専門医資格単位 必須分野 [7] 脊椎・脊髄疾患
- リウマチ医単位 (R)

テーマ

- ◆ 基本的な手技
- ◆ 起こり得る合併症と対策

講師

- 三原 久範 先生 (横浜南共済病院 診療部長/整形外科部長)
- 相庭 温臣 先生 (沼津市立病院 第二整形外科 部長)
- 望月 真人 先生 (富士整形外科病院 脊椎センター長)
- 池永 稔 先生 (相馬病院 脊椎外科部長)

ケースディスカッションモデレーター

- 門田 領 先生 (沼津市立病院 第二整形外科 医長)

プログラム

12:30	開場	
13:00-13:10	開会の挨拶・講師紹介	山崎先生
13:10-13:50	「頸椎前方アプローチについて」	相庭先生
13:50-14:30	「頸椎椎体間固定におけるミッドライングループ法」	三原先生
	休憩	
14:40-15:20	「OPLL に対する頸椎前方法について」	望月先生
15:20-16:00	「私の頸椎前方除圧固定術について」	池永先生
	休憩 (*会場レイアウト変更)	
16:10-17:50	ケースディスカッション	モデレーター 門田先生
17:50	閉会の挨拶	三原先生

会場のご案内

会 場 : ビー・ブラウンエースクラップ株式会社本社 6F アカデミールーム
住 所 : 〒113-0033
東京都文京区本郷 2-38-16 JEI 本郷ビル
T E L : 03-3814-4088

アクセス : 東京メトロ丸ノ内線 または 都営地下鉄大江戸線
本郷三丁目駅より徒歩 3 分



B | BRAUN
SHARING EXPERTISE

お問い合わせ先:
ビー・ブラウンエースクラップ株式会社
スパイン事業部マーケティング部 遠藤
TEL: 03-3814-4088